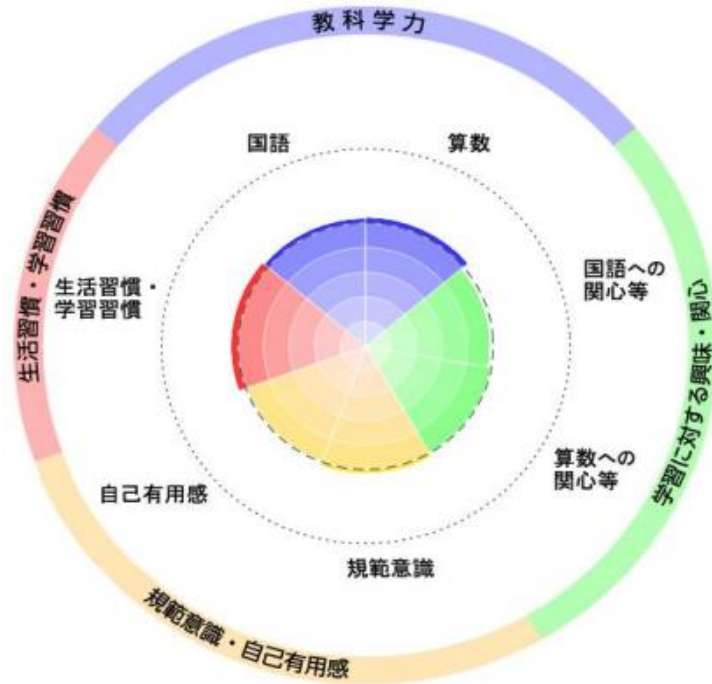


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査における小学校の結果について【実施日:令和5年4月18日】

筑西市内小学校の結果についてお知らせします。なお、この調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

## 1 令和5年度全国学力・学習状況調査における

### 本市のレーダーチャート



----- : 全国基準を示しています。

**対象:** 市内小学校第6学年  
**調査人数:** 20校 746人  
**調査内容:** 国語・算数・児童質問紙

## 2 教科に関する調査(レーダーチャートの「国語、算数」) ○:成果、●:課題

### 【国語】

- 文章の種類とその特徴について理解すること
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること
- 日常よく使われる敬語を理解すること
- 漢字を文の中で正しく使うこと
- 図表やグラフなど複数の資料を基に自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

### ◎今後の取組

- ・敬語についての段階的な指導の充実
  - 1年生から常体と敬体の文章について意識化を図り、3年生からは常体と敬体を使い分けて文章を書けるようにし、5年生からは敬語について知り、日常よく使われている敬語を使って話す場を設定する。
- ・資料を基に自分の考え自分の考えを書き表す指導の充実
  - ①図表やグラフなどの資料から分かったことを書く。 ②分かったことを基に自分の考えを書く。
  - ③自分の考えを分かりやすく説明する。 ④複数の資料を基に①～③を実践する。

### 【算数】

- 正方形の意味や性質について理解すること
- ( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること
- 正三角形の意味や性質について、操作を通して理解すること
- 百分率で表された割合について理解すること
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断すること

### ◎今後の取組

- ・目的の図形をつくるための操作の見通しを立てることができるようにする指導の充実
  - 図形の意味や性質を基に、どのような操作をすれば目的の図形をつくることができるか、見通しをもてるようにする。
- ・百分率で表された割合について理解できるようにする指導の充実
  - 日常生活の場面において百分率で表された割合について、具体的な数量の関係に基づいて理解できるようにする。
- ・数量の関係を捉え、問題の解決に式を用いることができるようにする指導の充実
  - 日常生活の問題を解決するために、どのように式を用いたのかを説明できるようにする。

## 3 児童質問紙調査(レーダーチャートの「興味・関心等」～「生活習慣・学習習慣」)○:成果、●:課題

- 「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合が全国より高い。
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている児童の割合が全国より高い。(30分以上、勉強のために使っている児童が、全児童の半数近くいる。)
- 「国語の勉強は好き」と答えた児童の割合が全国より低い。また、「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答えた児童の割合は6割弱であり、全国を約5ポイント下回る。
- 「自分には、よいところがある」と答えた児童の割合は昨年度より約2ポイント増加しているが、依然として全国より低い傾向にある。
- 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている・寝ている」と答えた児童の割合がいずれも全国より低い。(昨年度は、いずれも全国より高かった。)

### ◎今後の取組等

- ・国語科を核とした相手意識・目的意識を明確にした言語活動を通して、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する力の育成を目指します。
- ・子供たちが主役として自主的に学校づくりに参画できるようにし、子供たちの努力や挑戦のプロセスを「ほめて、認めて、励まし、伸ばす」ことで、自己肯定感や自己有用感を高めていきます。
- ・**基本的な生活習慣の育成を目指し、「早寝、早起き、朝ご飯」へのご協力をお願いします。**
- ・PC・タブレットなどのICT機器を活用した学習習慣が定着しつつあります。**各家庭では、学校から配付されている「タブレット使用ルール」を随時確認し、使い方や情報モラルについてのご指導をお願いします。**